

原発事故後7年目の 課題を考える 公開シンポジウム

平成30年

2月9日 金

13:30 ~ 17:00

(開場は13:00より)

宇都宮大学
峰キャンパス5号館
2階5B21教室

福島原発事故に伴う放射性被ばくリスクは、社会に多様な衝撃を及ぼして続けています。その被害の全容を掴むことは容易ではありません。一般にはよく知られない(=低認知)被害も多い中で、事故後7年目を迎え、風化が急速に進みつつあります。本シンポジウムでは、不可視化される「低認知被害」について現状報告を行い、今後の課題について議論をしていきます。

基調講演 「不可視化される低認知被害」

清水奈名子(宇都宮大学国際学部准教授) 栃木県を中心に
原口弥生(茨城大学人文社会科学部教授) 茨城県からの現状報告
荒木田岳(福島大学行政政策学類准教授) 福島県からの広域避難

パネルトーク 「被害と救済の多様性・ 普遍性を考える」

高橋若菜(兼司会者・宇都宮大学国際学部准教授)
蓮井誠一郎(茨城大学人文社会科学部副学部長)
西崎伸子(福島大学行政政策学類教授)
西村淑子(群馬大学社会情報学部教授)
関礼子(立教大学社会学部教授)

参加費無料、事前申込み
は不要、お車での来場可。
ぜひお越し下さい。

主催: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター福島原発震災に関する研究フォーラム
茨城大学・福島大学・宇都宮大学研究コンソーシアム

共催: 宇都宮大学地域連携教育研究センターCOC/COC+推進室

(平成29年度地域志向教育研究支援事業)

お問い合わせ先: 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
028-649-5196(月-金10:00-16:00)

【プログラム】

13:30-13:40 主催者挨拶:

佐々木一隆(宇都宮大学国際学部長)

田巻松雄(宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター長)

蓮井誠一郎(茨城大学人文社会科学部副学部長)

13:40-14:50 第一部 基調講演「不可視化される低認知被害」

清水奈名子(宇都宮大学国際学部准教授)

「低認知被害—栃木県を中心に」

原口弥生(茨城大学人文社会科学部教授)

「茨城県の低認知被災地」

荒木田岳(福島大学行政政策学類准教授)

「福島県からの低認知避難者(広域避難)」

休憩 (10分)

15:00-17:00 第二部 パネルトーク「原発被害と救済の多様性・普遍性を考える」

高橋若菜(兼司会者・宇都宮大学国際学部准教授)

蓮井誠一郎(茨城大学人文社会科学部副学部長)

西崎伸子(福島大学行政政策学類教授)

西村淑子(群馬大学社会情報学部教授)

関礼子(立教大学社会学部教授)

質疑応答

17:00 閉会挨拶

重田康博(宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター副センター長)

交通アクセス

JR「宇都宮」駅からバスで約15分、「宇大前」「宇都宮大学前」下車、タクシー約10分。
(JR宇都宮駅より、約2km)

〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町350

宇都宮大学峰キャンパス 5号館2階 5B21教室

問合せ先: 多文化公共圏センター

Tel: 028-649-5196(月-金10:00-16:00)

